

# 孝 義 だ い 井田 よしたか



もっと人に優しい入善町へ  
全力を尽くします

1969年、入善町芦崎生まれ。入善高校、立正大学社会学部を卒業。  
大学を卒業後は東京で出版社や巡回映画の職に就く。2000年に富  
山県に戻り、介護職場に就職。労働組合をつくり、介護職の待遇改善  
に努めた。2014年の補欠選挙で初当選し3期目。

日本共産党入善町委員会



ホームページ

# 住民の切実な願いに応える町政に



「食料品がどんどん値上がりして  
スーパーへ行くのが不安」

「高齢者になっても 安心して  
病院や買い物に行きたい」



「高齢の親が順番待ちで施設に入れない」  
「ショートステイが利用できない」

「増え続ける空き家を何とかして」

「入善町の災害対策は大丈夫か」

「1人暮らしの下水道料金が高いのはおかしい」



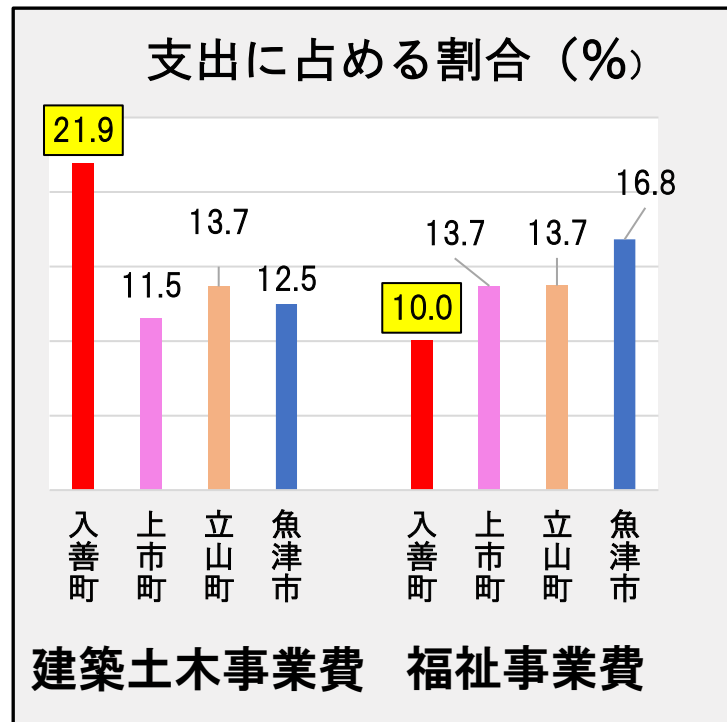
このような町民のみなさんの声に応えていくこ  
とこそ、本来の町政の役割ではないでしょうか。  
-1-  
私は暮らしを守り支える町政をめざして精いつ  
ぱい頑張ります。

# 暮らし・福祉にもっと予算を

## ◆ 少ない福祉の予算

入善町の建築土木費は、ほかの市町村に較べて飛びぬけて大きくなっています。逆に、福祉事業費は大変少なくなっています。

※ グラフは平成25年から令和4年までの平均です。



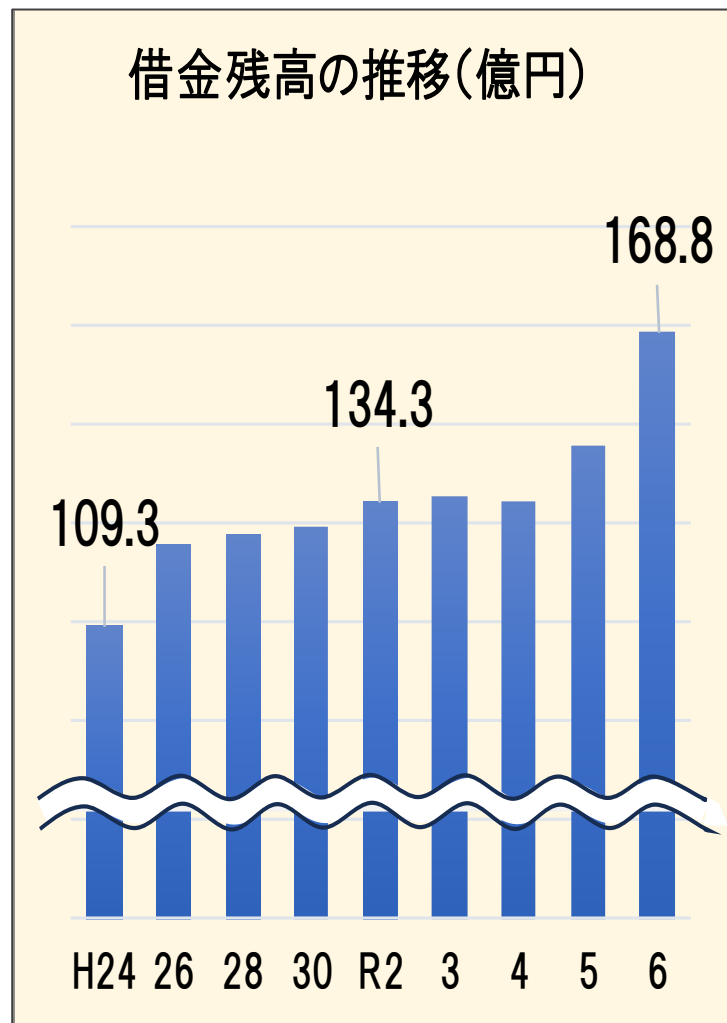
## ◆ 大型事業の集中で借金が増大

大型土木事業ばかり優先した結果、令和6年度末の町の借金は平成24年に比べ1.8倍に膨らみました。

借金返済額は令和4年から15億円台になり、以前より約2億円も増えています。

「人口が減る中で、大型事業ばかりで良いのか」という声も。日本共産党は「必要なものでも、大型事業の集中は避けよ」と言って来ました。

大型公共事業優先でなく、住民優先の政治への転換が必要です。





# 1 暮らし続けられる入善町へ

## (1) 物価高から暮らしを守るために

- ① 一人親世帯や高齢者世帯などへの継続的な支援を強めます。
- ② 景気回復のため消費税を一律5%へ引き下げるよう国に求めます。大企業と大金持ちに応分の負担を求め、財源とします。

## (2) 安心して買えるお米、安心して続けられる農業へ

- ① 米をはじめとして、消費者が安心して買い物ができるよう、農産物の自給率向上と価格の安定を国に求めています。
- ② 安心して農業が続けられるよう、農家の所得補償を国に求めます。
- ③ 農業機械の購入補助を充実します。



大型コンバインは1,500万円以上

安心してご飯が食べられるのは、米作りが成り立ってこそその話です。

## (3) 誰もが行きたい所へ行ける公共交通へ

- ① 午前のデマンドタクシーを増やします。
- ② 病院とスーパーを回るバスを復活します。
- ③ 隣の市や町へ行けるバスを運行します。



## 2 いざという時に受けられる介護体制を

### (1) 事業が続けられる介護報酬を

- ① 国から介護事業所に支払われる介護報酬が低すぎて、どこも経営は危機的状況です。国に介護報酬の大幅な引き上げを求めます。



### (2) 町内の介護事業所へ緊急支援を

- ① 高騰しているヘルパーのガソリン代や施設の食材購入費などに緊急支援します。
- ② 職員確保・離職防止のため、職員の夜勤手当や家賃支援など町独自の支援を行います。



## 3 災害から命と暮らしを守る

- ① 町が主導して津波や河川氾濫など災害の種類ごとに実践的な避難訓練を実施します。
- ② 町の防災計画を実際の災害に対応できるものに改善を求めています。
- ③ 避難所にテント型間仕切り(写真)や発電機など十分な資機材を配置します。
- ④ 防火水槽を住宅密集地などに計画的に整備します。



家族用テント型間仕切り  
(株式会社ニードの厚意により掲載)

## 4 子どもたちが健やかに成長できる町へ

### (1) 利用しやすい学童保育へ

- ① 土曜日と長期休暇の受け入れが8時から7時半になりました。さらに朝7時から預かれるよう、町の責任で指導員を確保します。



### (2) 悩みにこたえるスクールカウンセラーの増員を

- ① 入善町でも不登校や発達障がいを抱えた子どもたちがいます。県から派遣されるスクールカウンセラーを2人から各学校に配置するよう求めます。
- ② 町独自でもカウンセラーを確保します。



### (3) 学校給食を無償に

- ① 小中学校の給食を無償にします。約4,800万円あれば実現できます。
- ② 小中学校の給食に地場産材料を拡大します。

### (4) 小中学校の体育館にクーラーを

- ① 猛暑から子どもたちを守り、災害時には避難所として利用するためにも、クーラーの設置を進めます。

## 5 安心して暮らせる町づくり

### (1) 空き家対策

- ① 早急に実態を調査し、放置空き家の状態に応じた対策を進めます。
- ② 危険な放置空き家は町の責任で解体します。



放置空き家



## (2) 地域の要望に応えられる予算と体制を

令和5年度は各地区からの要望が7割しか実現できませんでした。

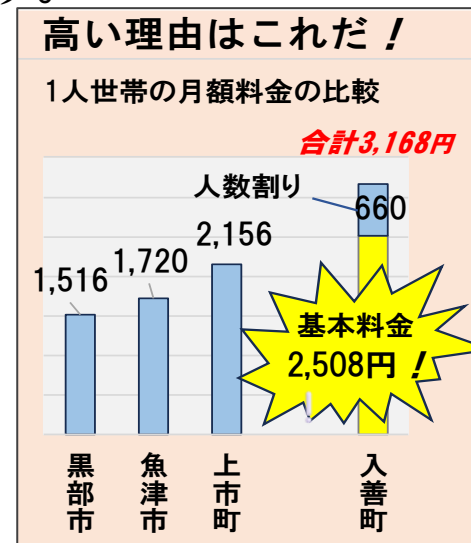
- ① 不足している専門職員を確保し、十分な予算を付けて、各地区の要望が実現できる体制を作ります。

## (3) 不公平な下水道使用料の改善を

入善町の1人世帯の使用料は、5人世帯の一人分の2.7倍です。

また、黒部市の2倍、上市町の1.5倍にもなります。

- ① 月2,508円という高すぎる基本料金が原因です。この基本料金を廃止し、公平な料金制度に改善します。
- ② 町の一般会計から下水道会計へ繰り入れをし、高齢者世帯割引を緊急に実施します。



## (4) 杉沢の管理

- ① 国の天然記念物にふさわしく専門家を含めた管理委員会を復活させ、杉沢の管理を強めます。
- ② 文化庁に維持管理の財源を求めます。



## (5) マツクイムシ対策

- ① 報徳地内の防災林の松が枯れないよう、予防薬を樹幹注入します。
- ② 伐倒駆除した場所へ、マツクイムシに強い松を植えます。

雑木が伸びた杉沢

## (6) 黒部川のダム排砂の改善

- ① 連携排砂は、6月から8月と期間を決めないで、大雨のたびに実施するよう、関係機関に求めます。
- ② ダム湖に土砂を溜めないよう、排砂時間を延長するよう求めます。

# みなさんの願いが実現・前進しました

## <いのちと暮らし>

- ・プレミアム商品券を1万円単位から5千円単位で、申込者全員が購入可能に。
- ・加齢性難聴の補聴器の購入補助が決定。

## <防災対策>

- ・芦崎一報徳間の海岸の離岸堤 今年から着工。
- ・トイレトレーラーの導入が決定。
- ・木造住宅耐震改修の補助を120万円から140万円に引き上げ。
- ・災害時の緊急支援物資を避難所に分散して備蓄。
- ・避難所の解錠のため、暗証番号型ボックス設置。

## <子育て・介護・福祉>

- ・学童保育の夏休みの開所を8時から7時30分に。
- ・行方不明者の早期発見ネットワークをつくる。
- ・65歳以上の重度障がい者の償還払いを窓口無料に。

## <生活基盤・環境>

- ・西入善駅前を送迎時の安全確保のため整備(写真1)
- ・新村踏切の拡幅工事の着手(写真2)。
- ・高瀬湧水の庭にトイレ設置が決定。
- ・園家山のマツクイムシ被害対策と補植(写真3)
- ・入善駅のエレベーター設置に向け周辺地域バリアフリー基本構想に着手。



写真1 西入善駅前の整備



写真2 新村踏切の拡幅



写真3 マツクイムシ対策

入善民報

2025年6月号外

いのちと暮らしを守る 日本共産党の政策

発行 日本共産党入善町委員会